



二学期が始まって 5 週 (5/10) が過ぎました。寒さに負けずお過ごしでしょうか？

## 授業研究会 (8/18②4-1 事前授業研究、8/25①4-2 全校授業研究) のお知らせ

教員の授業力の向上と子ども達に確かな学力の定着を図るために、授業研究会を行います。

8/25①4-2 全校授業研究会には全教員が参観し、授業研究協議会 (17:30~18:30) に出席します。8/25①校時には、全教員が参観するため、各クラスに保護者のクラスヘルプをお願いしています。クラスヘルプの方は担任が準備したプリント等を配布し自習の監督に当たって頂きます。ご協力ありがとうございます。

## 子育てについて・・・「文武両道」

「あなたは勉強が仕事なんだから、勉強がんばってね。」

本当にそうでしょうか？

「勉強さえしておけばいいんだ。」「宿題をすればそれでいい。」といった勝手な判断をさせてしまうのも子育ての姿が影響しているのかもしれない。

本当に力を身に付けた子どもになるには、昔から「文武両道」と言われるように、勉強とそれ以外にスポーツやお手伝い等の両立ができることが大切です。例えば、自分がしたお手伝いで、大好きな家族から感謝され存在感を味わうことができるし、逆に自分がしてもらっていることをわかり感謝する心が育つものです。子どもの頃からそれができている子は、補習校でも進んで人のために活動できる力が身に付いています。

我が子に何ができるか、まずは子どもと話し合ひましょう。「うちの子は続かなくて」とあきらめず、決めたことは継続的に取り組めるように見守ってほしいと思います。時間を決め、がんばり表を作るなど工夫しながら、自分がすべきことに取り組ませてください。そして、ほめて結果を認めながら感謝を伝えてください。そうすれば、自分で考え、行動する力、そして思いやる心も育っていくはずです。

## どんな親だったろう？ 自分は。そして、どんな子に育ったのだろう？

[子は親の鏡] 「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト著・PHP 文庫から)

- ・「けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる。」
- ・「とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる。」
- ・「不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる。」
- ・「『かわいそうな子だ』と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる。」
- ・「子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる。」
- ・「親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる。」
- ・「しかりつけてばかりいると、子どもは『自分は悪い子なんだ』とってしまう。」

以上の文章は、子どもによくない影響を与える言葉として、家庭教育の子育てコンサルタントの第一人者の著者が子育てのヒントとして親御さんに語られたものです。



7/28 あいさつ運動 (中 3)



8/4 あいさつ運動 (中 2)



8/11 あいさつ運動 (中 1)